

Season 2

ぜっ校長！

第24号…3年生は今日から進路懇談！

平成30年11月26日（月）

稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆“教育”とは“学校”とは何か？ ～教育実習の思い出～

▼先週、3名の学生が本校で4週間の教育実習を終えました。「稲羽中の生徒は本当に落ち着いて学習できるし、みんないい子ばかりでした」とか「私は愛知県の学生ですが、来年岐阜県の教員採用試験を受けようかと考えています」（ホントかあ?!）とか言って大学に戻っていきました。私自身の教育実習をふと思い出し、彼女たちが羨ましく思えました。今回は、つまらない私の思い出話です。▼今から37年も前（もしかしたらまだお生まれになっていない保護者の方もいらっしゃるのでは?!）のことです。大学4年生の江口青年は教育実習で学校現場にいました。私の母校は生徒数1,800人のマンモス中学校で、その年2つに分離しました。私は、母校ではなく、新設された中学校で教育実習を行うことになりました。その中学校には3年生はいなくて、1・2年生だけの学校でした。私は2年4組に配属されましたが、他の学級には2～3名の教育実習生が配属されていたのに、2年4組は私一人だけでした。教育実習生に対する事前指導の中には、次のような“注意事項”がありました。「教育実習生は徒歩もしくは公共の交通機関を利用して出退勤すること」（自家用車、バイク、自転車などは傷をつけられたり、盗まれたりするおそれがあるということです!）「教育実習生は一人で廊下を歩いたりトイレに行ったりしないこと」（生徒に取り囲まれるおそれがあるということです!）…実習前から“覚悟”をしなければなりません。実習初日、担任の先生に教室まで連れて行かれ、教室のドアを開けると、バレーボールやサッカーボールなどが宙を舞っていました。やっと全員が席に着いたところで、「よし、自己紹介を決めてやる!」と意気込んで、黒板いっぱい大きな字で「江口雅明」と書いていたら、何かが飛んできました。「口」という字の真ん中に、何と（数学で使う）コンパスが突き刺さっていました。何とか自己紹介を終えて、廊下側の最後列の自分の机に向かうと、窓側の最後列に信じられない光景が! 椅子に大股開いて座っている「番長くん」（「番長」=中学・高校生などの非行少年グループのリーダー）の膝の上に「スケ番ちゃん」（「スケ番」=中学・高校生などの非行グループの女子のリーダー）が座り、暇さえあればキスしているのです! 担任の先生が注意したら、その「スケ番ちゃん」は「うっせんだよ!」と一喝し、自分のスリッパで担任の先生に“びんた”…。生徒指導が成立しない、善悪の分別や正義も通用しない、まさに“戦場”と言っても過言ではない学校現場でした。しかし、この教育実習こそが、その後30年以上教師として生きてきた私にとっては、人生の“原点”です。

☆What Cool Students! 稲中生、頑張っています!

▼まさに稲羽中の“Cool Students”が、最後まで“襷”（たすき）をつなぎ合いました。紹介が大変遅くなってごめんなさい…。

【部活動や個人の表彰など】 ※敬称略

◎稲羽中学校駅伝チーム 第26回岐阜地区中学校駅伝大会

<男子> **10位!** <女子> **5位!** →**県大会出場!**

